

令和4年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「個別最適な学び・協働的な学びの具現化に向けて」

加須市教育委員会

教科等の目標を達成するための一人一台端末の活用

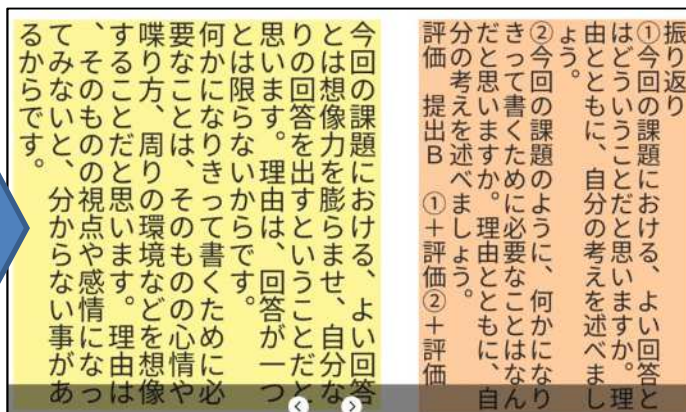
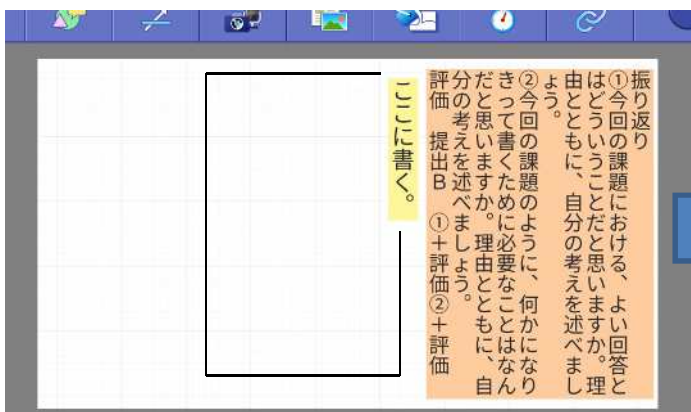
実践1：振り返り活動の充実と、「深め合い」の促進

○教科名：国語

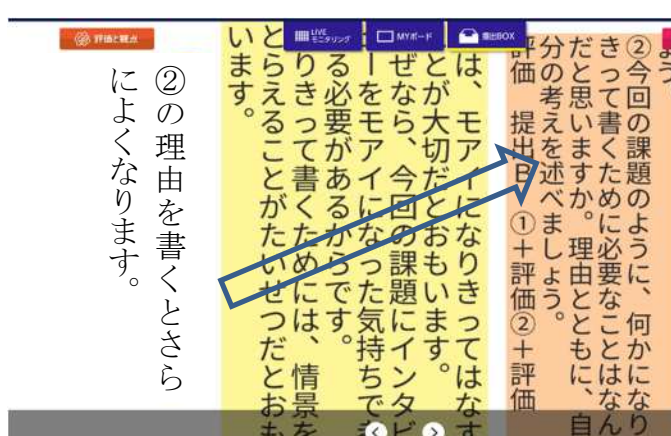
○使用場面：授業や単元における振り返り場面

○身に付けたい力：思考力・判断力・表現力等

○効果的なICT端末の活用：「オクリンク」機能



生徒が常に意識できるよう、課題や評価ポイントを記入枠の横に表示。生徒は課題を確認しながら取り組むことができる。



提出BOXでそれぞれが作成した課題を共有し、深め合う。

生徒へは、評価理由などをつけてフィードバックする。

○成果と今後の課題

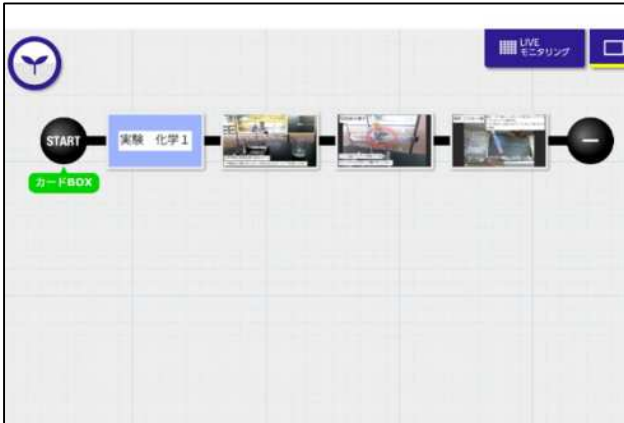
- <成果>
- ・このような活動を継続することで、生徒の記述量が増加していることから、振り返り活動の充実がうかがえる。
 - ・周囲の意見や考えに、同時かつ多く触れることができることで、生徒の学習がより深まることが期待できる。
 - ・フィードバックが短時間かつ容易にできることで、授業における活動時間の確保や増加につながる。

<課題>

- ・従来の、紙面に書く活動とのバランスが大切である。

実践2：主体的な学びや協働的な学びの促進

- 教科名：理科
- 使用場面：グループで実験を行う場面
- 身に付けたい力：主体的に学習に取り組む態度
- 効果的なICT端末の活用：「ムーブノート」機能



実験の手順をつなげて、それぞれのグループにムーブノートで送る。注意事項やポイントも記載しておく。

○成果と今後の課題

- <成果>
 - ・それぞれの端末にあらかじめ手順を送ることで、グループの状況に合わせた活用や、冒頭の説明時間が短縮できるため、生徒の活動時間の確保が期待できる。
 - ・手順を元にした、生徒の主体的な活動や、課題解決に向けた協働的な活動の充実が期待できる。
 - ・実験の再現性が高い。
- <課題>
 - ・生徒に活動をある程度委ねる分、活動内容によっては安全面の指導を十分に行う必要がある。
 - ・データ作成に、教員が最低2人必要になる。

今後に向けて

- ・デジタル教科書もさらに普及することが予想される中、ICTを活用した一斉授業にならぬよう、効果的な活用に関する検証をさらに進めていく。
- ・市内小中学校における、効果的な実践について情報共有を行い、授業におけるICT活用について、量的および質的向上を図っていく。